



くつ かけ よし のり
杓 掛 義 範

質 世界の経済が低迷を続ける中、本市の各種産業が非常に厳しい状況にあり、農業や商業を含め経営者は、資金繰りに苦慮している。本市の広大な農地は、個人を主体とする家族型農業経営により支えられており、個別農家の農業振興が重要ではないか。

自営業者が円滑に営業、営業ができるよう、一時的な支援資金を融通する施策について検討できないか。

農・商経営活性化対策 支援事業の創設を

～融資制度の導入を検討～

飼料高騰の中、がんばる養鶏農家



豊のしゃも



プロイラー

答 市長
平成19年度からの燃油・肥料の上昇は、農業経営・生産活動に深刻な影響を及ぼしています。

本市としては、平成20年度から国の「燃油・肥料高騰緊急対策事業」によるコスト低減体系の転換化や農業用資材の高騰に耐える生産体制づくりを進めてまいりました。

また、本市独自の取り組みとして、平成20年度に「畜産経営緊急



安定対策事業」や「自給飼料確保向上対策事業」を実施し、「自給飼料確保向上対策事業」については、平成21年度も事業を継続しております。

さらに、農業経営の支援体制として、相談窓口を担い手育成総合支援センター内に開設し対応しています。

農業関係では、日本政策金融公庫の制度資金「農業経営基盤強化資金（スーパージ



相談は豊後大野市商工会へ

金)、「農林漁業セーフネット資金」などについて、償還利子に対する助成を今後も行っていく予定です。

商業については、中小企業「セーフティネット」事業の推進を図りながら、独自の資金貸付について、県内で実施している他の自治体の内容などを調査研究しながら、本市において融資制度を導入するか検討してまいります。



おの やす ひで
小野 泰 秀

質

納税者に対して、もっと使途を明らかにし、受益と負担の関係を明確にしたものを公表すべきだったと思うが。

答 総務部長

納税者の方への説明などが不足していたと反省しています。

質

合併後、具体的な事業計画もなく、納税者に現状を知らせず、起債償還だけのために都市計画税を支払ってきただけに、正当性はあるのか。

答 総務部長

必要であり、正当なものであります。

都市計画税の

停止は妥当か

事業が完了したため



市民の憩いの場（大原総合公園）

質

長年にわたり納めてきた納税者に対し、どのような対応を考えているのか。

答 総務部長

停止に至る経過および今後の事業については、広報などを通じて、ご説明をさせていただきま

どうなっている

新庁舎建設

平成26年度までの

完成を目指す

質

日本設計との委託契約は、現在継続されているのか。

答 市長

契約は延長したが、作業は中止しています。

質

市内業者と協議を行っているかと聞くが、進捗状況は。

答 市長

建築士会や設計事務所と契約が可能か否か、法的な検討を行っています。

質

「身の丈にあった庁舎」とは、建設費をどのくらいの額と考えているのか。

答 市長

今後、基本構想などを進めながら、建設費を見積もっていきたい。

質

市民の利便性や行政の効率性、経済性を考えれば、一刻も早い建設の着工が必要ではないか。

答 市長

迅速に進めてまいります。



老朽化が進む本庁舎